

MECCだより

武蔵野・多摩環境カウンセラー協議会広報紙 第12号 2006年12月

もくじ

巻頭言・CSR（企業の社会的責任）について思うこと	川真田 直之
平成18年度 八王子市EA21自治体イニシャティブプログラム	岩淵 敏男
井の頭池の生態系を考える 外来魚釣りイベント	糸井 守
新会員紹介	植村 國男
コスタリカのエコアクション21報告	門司 和夫

巻頭言・CSR（企業の社会的責任）について思うこと

川真田 直之

近年日本ではCSRの重要性が盛んに取り上げられ、企業はCSRレポートを公開して企業イメージを高めようとしています。CSRとはcorporate social responsibilityの日本語訳ですが、この概念は今に始まったわけではなく、江戸時代の大名はCSRを取り入れて商売を行っていました。しかし、この概念は時代と共に変遷してきました。変遷した概念の主要な内容は、企業のstakeholder（利害関係者）すなわち責任を持つべき対象と責任の内容です。また米国や英国ではSRI（社会的責任投資）、すなわち企業のCSRと財務成績を投資家が自ら評価して投資先を選択する投資が増大しています。このように企業の評価を企業が公表する理念や情報および実際の活動実績をCSRという総合的な指標によって評価することが重視されるようになったということです。

現在、日本では経済関連団体や政府機関のガイドラインとして、CSRの利害関係者の定義が様々な形で考えられています。例えば、顧客、従業員、オーナー（株主）、サプライヤ、競争相手、地域社会の6分類とするケースや、市場、環境、人間、社会の4分類とするケースがあります。この特定化された対象と企業との関係が責任ある状態かどうかを企業のCSRレポートとして公表しています。そのCSRレポートの内容は企業により様々で、善意から行われる内容ばかりでなく、単に客寄せのリップサービスである場合もあります。公表内容の真の意味を評価することが我々一般市民に求められています。

CSRのパフォーマンスとしては、持続可能な発展、企業ガバナンスの充実、コンプライアンス、製品・情報・サービスの顧客満足、環境配慮、従業員の幸福、コミュニケーションなどがあります。これらのパフォーマンスの記述は企業自身の公表した内容だけによるので、企業の総合的なCSRレベルの高さを外部から評価するのは非常に困難になります。そのような評価を統一的に行えるような規格化もISO（国際標準化機構）で進められています。

今日、大量の製品を無理やり供給して高利潤を求めて事業拡大を行ったり、マネーゲームで高収益を得たり、堂々とCSRレポートを公表しながら談合でトップがテレビで頭を下げたり、大勢の外部企業の従業員を自社従業員と見せかけて安く使用する、等の状態を見ると、企業と個人の同一性を強く感じます。企業は個人と異なり衆知を集める訳ですから、より善い人格を持った集団と思えるのですが、大量のエネルギーを消費する製品や大量のエネルギーを消費して製造する製品を多量に供給する企業が、真摯にCSRのレベルアップに取り組めばより住み良い地球を維持できるのではないのでしょうか。

地球は最後にはflora & fauna(動植物)も存在しない星屑になる摂理に支配されているとは言え、現在に生きる人間は、企業も個人も全地球（動植物ばかりでなく無機物の地球）に対する責任を持たなければならないと私は考えます。

平成18年度 八王子市EA21 自治体イニシャティブプログラム

岩淵 敏男

平成18年度八王子市自治体イニシャティブプログラムが10月12日にスタートしました。

八王子市は昨年度から自治体イニシャティブプログラムに取り組んでいますので、2回目の実施となります。

このプログラムは、地域事務局東京中央と八王子市役所（環境部環境政策課担当）が主催し市内の参加希望事業者エコアクション21の構築指導を行い、認証取得を目指すものです。

昨年度は24社が参加し、10月末現在で6社が認証

取得という実績があり、今年度は更なる発展を期待していましたが、意に反して参加事業者は9社と少なく残念でしたが、逆に少数精鋭できめ細かく対応することにより全事業者が認証取得できるように指導が行える場になったと捉え前向きに取り組んでいきたいと思えます。

今年度の参加事業者9社の業種は廃棄物・リサイクル業4社、製造業3社、自動車販売・修理業1社、造園業1社という内訳で、昨年度の廃棄物・リサイクル業集中から他業種分散化になっています。

	年 月	指導内容
第1回説明会	H18年10月	全体説明、環境負荷・取組の自己チェック
第2回説明会	H18年11月	法規制、実施体制、環境方針、目標、活動計画
第3回説明会	H18年12月	環境教育、コミュニケーション、緊急事態、評価・見直し
第4回説明会	H19年04月	環境活動レポート
第5回説明会	H19年05月	認証申請申込手続

スケジュールは昨年度と同様で10月の第1回説明会以降来年の5月までに表に示した内容で計5回の説明会と途中に情報交換会及び個別相談会を設定し、参加事業者が申請可能な段階になるまできめ細かく指導とフォローを行っていきます。

また、今年度の指導担当者は全員MECC会員であり、全体の主幹事として稲田、岩淵が担当し、グループ単位で指導を行うグループサポーターとして藤井、川真田、田坂、上原、水野の各氏が担当し指導に取り組んでいきます。

井の頭池の生態系を考える 外来魚釣りイベント

糸井 守

1. 実施目的と事業の内容

井の頭池を澄んだ水で満たしたい—これは、井の頭恩賜公園を愛する人たち、公園周辺に暮らす住民の願いです。そのためには、地域住民の方々の理解と協力が必要であるとの前提に立ち、井の頭池の実情を知っていただき、井の頭池に関心を持っていただくことが大事だと考えています。その一助として、井の頭池の生態系に実際に触れていただくことを目的としました。

実施日時は、7月29日（土）午前10時～午後4時、場所は井の頭恩賜公園の井の頭池周辺および東京都西部公園緑地事務所です。主催は神田川ネットワーク武蔵野エコクラブ、共催は井の頭恩賜公園水質浄化実行委員会でした。内容は以下の通りです。

- ①井の頭池お茶ノ水付近及びひょうたん橋付近におけるブルーギル及びブラックバスを対象とした外来魚生態調査（午前10時～午後1時）
- ②魚拓づくり（午後2時～3時30分）

参加者は一般参加者が32名（大人18名、子ども14名）、神田川ネットワーク関係者13名、東京吉祥寺ライオンズクラブ関係者、東京都関係者などでした。

2. 事業の成果

ブルーギル462尾（最大15センチ、最小3センチ）、ブラックバス12尾（最大45センチ、最小5.5センチ）、合計474尾が釣りにより捕獲できました。これら全釣果を布2枚を使い、魚拓にしました。また次のような事業の成果がありました。

- ①参加者全員が、いかに井の頭池が外来魚に席捲されているか、いかに在来種が少なくなっているかに驚き、井の頭池の生態系の大きな変化を十分に認識することができました。
- ②参加者に限らず、通りがかりの一般通行人の方々が強い関心を示し、多くの質問や外来魚駆除活動への励ましを受けました。参加者同様、通行人の

方々にも井の頭池の深刻な実態を認識してもらうことができました。

③参加者（武蔵野市民）の中に、今回の参加をきっかけに“よみがえれ井の頭池”の活動に積極的に関わりたいとの意思を示す方がおられました。

一方、行事直前にコイヘルペスが発生したことで、参加予定者からキャンセルがあり、予定数を下回ったことは残念でした。

3. 今後に向けて

①これまで市民団体だけで行ってきた井の頭池の外来魚調査でしたが、今回、都西部公園緑地事務所及び東京吉祥寺ライオンズクラブのご理解とご協力を頂き、

無事行事を終えることができました。行政と企業や商店街、及び市民団体が共に協力し行う今回のような取り組みが、一過性のものに終わらず、今後とも継続した活動形態の一歩にしたいものです。

②このイベントをきっかけにして井の頭池の外来魚駆除に向け、歩みを加速させていきたいものです。

③参加者の感想にもあったように、生態系の変化、外来魚の脅威などについては、聞いたり読んだりするだけではなく、今回のように実際に現場で経験することによって身近なものとして感得できます。様々な機会をとらえて市民の参加を促していくことの必要性を感じました。



釣り：餌はミズ。最初は大人が夢中になって釣っていましたが、だんだん子どもも自分で餌をつけられる様になり、1箇所1時間30分の時間があっという間に経っていきます。



魚拓づくり：自分の釣った魚を全部並べます。新聞紙で水気を取り、墨を表面に刷毛で塗っていきます。この上から白い布で押さえればできあがりです。

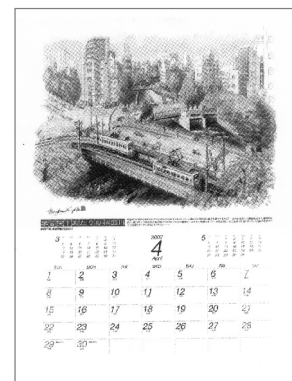
『よみがえれ神田川・井の頭池カレンダー・写真展』

～神田川の水源地（井の頭池）から柳橋まで12枚～

東京『神田川』一西は井の頭池より東は隅田川までの約25.5km。カレンダー『神田川水彩散歩』はこのたび第二弾を迎えました。手書きの風景で＜東京余感溢れる川＞を感じていただければ幸いです。

■カレンダー・写真展

会期：平成18年11月16日～12月15日
会場：吉祥寺南コミュニティセンター1階サロン
長谷川 清〔画家〕・藤原 隆〔写真家〕
主催：神田川ネットワーク 武蔵野エコ・クラブ
後援：NPO法人MECC
協力：吉祥寺南町コミュニティセンター



■カレンダー販売

1部価格（税込価格）1,200円
サイズ：B3（364mm×515mm）
注文先：神田川ネットワークまで

TEL:0422-45-0352 FAX:0422-45-0353

新会員紹介

町田市の植村國男です。よろしくおねがいたします。最近MECCの方々から町田市の方へもEA21の啓蒙に来ていただいている由です。町田市も昨年からごみ有料化になりました。私の出身地は東京、最初は食品工業、私の一番の思い出

はブラジル出向の4年間、次は産業廃棄物処理業で環境計量士として長くなりました。環境カウンセラーとしては小学校の総合学習のお手伝いとか地域の環境NPOのコーディネーターなどもしたいです。

コスタリカのエコアクション21報告

門司 和夫

JICAのシニア海外ボランティア（以下SVと略称）として、中米コスタリカ共和国へ派遣され、2年間の予定で、国立コスタリカ工科大を拠点に、コスタリカ版エコアクション21の構築に取り組んでいます。赴任後約6ヶ月間の進捗概要を報告します。

当初は、意思の疎通、仕事の進め方に戸惑う日々でしたが、定例会議の開催と議事録の作成、毎回の進捗状況の確認等を習慣づけるようにして、どうやら軌道にのってきました。

コスタリカでの活動名称が「Ecoaccion」に決定し、ロゴマークと併せて近く商標登録の予定です。

パイロット企業として、2社に参加が決定し、環境負荷の把握、環境への自己チェックを準備中です。

環境関連法規等の取りまとめについては、パイロット企業の具体的事例をベースに環境関連法規及び

その他要求事項の整理を進めていく予定です。

「エコアクション21ハンドブック（2006年版）」のスペイン語版の作成を検討中ですが、まだ予算の見通しが立っておりません。

コスタリカで活動しているSVは、全部で11名（11月末現在）います。その中で民間企業関連の指導をしておられる方の話を聞くと、データ収集と情報公開が困難とのことで、エコアクションの場合も環境活動レポートの作成と公表に工夫が必要になりそうです。

引き続き、環境省と(財)地球環境戦略研究機関持続性センター（IGES-Cfs）エコアクション21中央事務局の御指導と御支援をいただきつつ進めていきますが、MECCの皆様の忌憚のない御意見をいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

お知らせ 平成19年版 環境白書表紙絵コンクール

- ◆ 絵のテーマ：環境に優しい社会
- ◆ 部門：小学生の部・一般の部（高校生以上）
- ◆ 応募規定
 - ・ 大きさ：四つ切り画用紙（542mm×382mm）縦長
 - ・ 画材：自由（ただし立体物は使わないでください）
 - ・ 文字：作品中に文字は入れないでください。
- ◆ 必要事項：応募票に必要事項を記入し、作品の裏に貼ってください。

* 応募票はホームページからダウンロードできます

(<http://www.env.go.jp/guide/kobo.html>)

- ◆ 締切：平成19年1月31日（水）当日消印有効
- ◆ 作品の送付先：(財)日本環境協会 環境白書表紙絵係
〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9
ダヴィンチ神谷町2F TEL:03-5114-1251
- ◆ 主催：環境省／事務局：(財)日本環境協会

編集後記

発行回数も10回を超え、広報誌のあり方についてご意見もいただいております。来年度からでも一工夫できればと思います(K.I.)。

環境関係の活動に関わる機会が増え、一般の方を含め様々な方と話し合ったりすることは楽しく、世界が広がる感じがします。MECC便りを通して環境の話題提供をすることも一つのコミュニケーション。今後は自然や四季の変化、動植物の話題も載せていきたいと思っております。話題提供お待ちしております。(Y.N)

発行者：NPO 武蔵野多摩環境カウンセラー協議会 (MECC) 事務局

180-0023 武蔵野市境南町1-30-1 TEL & FAX : 0422-31-7200

電子メール：QWK11724@nifty.ne.jp

ホームページ：http://www.mecc.or.jp/